

長野信用金庫は2023年9月1日に 創立100周年を迎えました

これからも、
ずっといっしょに、
このまちで



100周年ロゴマークは、北信15市町村の名物や名所で構成したハートで「地域への感謝」を、カラフルな色彩で「北信の豊かさ」を表現しています。

長野信用金庫の概要

(2023年9月30日現在)

創立：1923(大正12)年9月1日
本店所在地：〒380-8686
長野県長野市居町133番地1
店舗数：38本支店
店舗外ATM23カ所
常勤役員数：555名
会員数：59,294名



本店・本部

インターネットホームページ：<http://www.nagano-shinkin.jp/>

当パンフレットのお問い合わせ先：
長野信用金庫 総合企画部 電話：026-228-0221(代表)

本誌に記載の比率および金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

2023年度上半期トピックス

ビジネスフェアを コロナ禍前の水準で開催



5月10日に「第20回
長野しんきんビジネス
フェア2023」をビッグ
ハットで開催しました。

コロナ禍前の水準
となった今回は、275
社・団体が出展しました。来場者数は過去最多の約
4,700人が来場したほか、地元の生徒・学生約500名が
事業者から熱心に話を聞いていました。

また、創業間もない企業が共同出展する「創業village」
や、次世代を担う若手経営者向けのブースエリアも設けま
した。

フェア当日の商談件数は629件、今年度の商談成約
数は226件、第1回からのビジネスマッチング累計件数
は2,097件となっています。



創立100周年記念事業

養護学校にスクールバスを寄贈



当金庫創立100周年
記念の地域貢献事業の
一環として、千曲市の稲
荷山養護学校にスクー
ルバスを1台寄贈しまし
た。バスは32人乗りで
車いすは4台まで乗車
可能なリフト仕様となっ
ています。



創立100周年記念事業

地域貢献活動「ありがとう100」



創立100周年の感謝を込めて、しんきんのすべての部
店で「100」の地域貢献活動に取り組みました。

これまでに地域清掃をはじめ、「電話でお金詐欺」被害の未然防止啓発活動、通学時の交通安全活動、各種ボランティアなど、合計108件の活動を実施しました。
(2023年9月末時点)



駅前駐輪場の清掃活動



通学時の交通安全活動



夜間瀬川の環境整備ボランティア



若槻養護学校でのボランティア



「電話でお金詐欺」被害の未然防止啓発活動



長野養護学校でのボランティア

これからも、ずっといっしょに、このまちで



しんきん 2023 上半期レポート

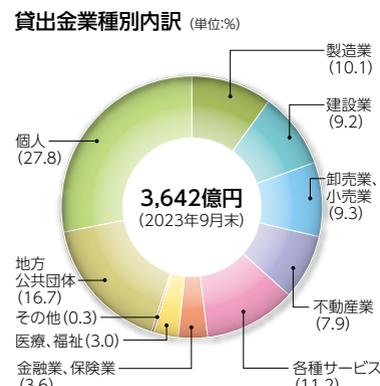
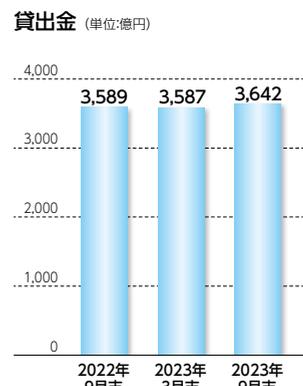
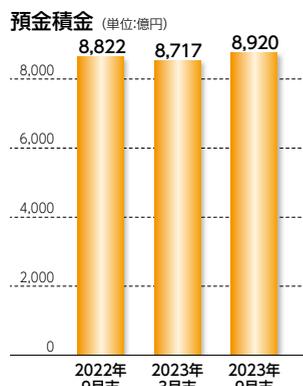
2023年度上半期のご報告
(2023年4月1日～2023年9月30日)



■ 預金積金と貸出金

2023年9月末の預金積金は、個人・法人ともに流動性預金が増加したことから、2023年3月末比202億95百万円増加して8,920億2百万円となりました。

貸出金は、事業性融資や住宅関連融資の増加により、2023年3月末比54億45百万円増加の3,642億円となりました。

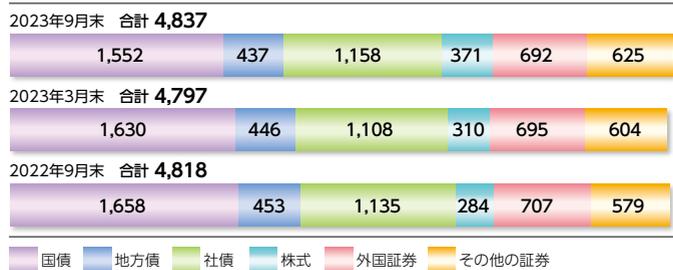


■ 有価証券

みなさまからお預かりした大切な預金積金は、貸出金のほかに国債・社債等の有価証券でも運用しています。当金庫は運用にあたり、安全性を重視した方針を堅持しています。

2023年9月末の有価証券は、2023年3月末比40億99百万円増加して4,837億99百万円となりました。

有価証券の種類別残高 (単位:億円)



有価証券の時価情報

売買目的有価証券

(単位:百万円)

2023年3月末		2023年9月末	
貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額
—	—	—	—

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	2023年3月末			2023年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	6,679	6,727	48	4,776	4,802	26
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,150	1,148	△1	3,080	3,068	△11
合計	7,829	7,876	46	7,856	7,871	14

(注) 時価は、決算日における市場価格等に基づいております。

売買目的有価証券: 時価の変動により利益を得ることを目的とし、短期間保有する有価証券です。
満期保有目的の債券: 社債などのように満期まで長期保有する債券です(株式は含みません)。一定の期間ごとの利息を得ることを目的に保有し、満期に額面で償還される債券です。

その他有価証券: 上記2つおよび「子会社・関連会社株式」に分類できない有価証券です。

その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	28,745	15,919	12,825	35,975	17,229	18,745
	債券	140,653	136,275	4,378	105,082	102,456	2,626
	その他	92,059	77,867	14,191	94,526	74,852	19,674
	小計	261,457	230,062	31,396	235,583	194,538	41,046
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	2,181	2,456	△274	1,037	1,108	△70
	債券	170,127	177,967	△7,840	201,902	216,694	△14,791
	その他	37,945	42,337	△4,391	37,261	43,142	△5,881
	小計	210,253	222,761	△12,508	240,201	260,945	△20,743
合計		471,710	452,823	18,889	475,784	455,483	20,302

(注) 貸借対照表計上額は、決算日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

市場価格のない株式等

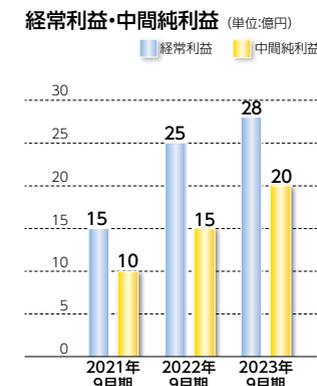
(単位:百万円)

内 容	2023年3月末		2023年9月末	
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社株式	10	10	10	10
非上場株式	146	146	146	146
信金中央金庫出資金	4,052	4,052	4,052	4,052
組合出資金	13	13	13	13

■ 収益

マイナス金利の環境下ではありますが、有価証券利息配当金や国債等債券売却益の増加などから、業務純益は前年同期比1億15百万円増加して26億79百万円となりました。

業務純益の増加により経常利益は前年同期比2億50百万円増加し、中間純利益は前年同期比5億円増加して20億38百万円となりました。



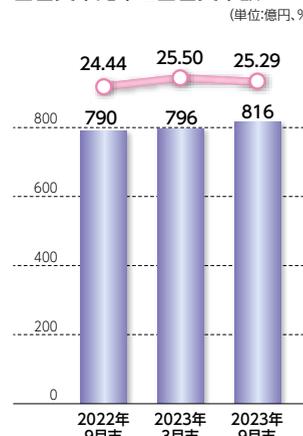
■ 自己資本比率

自己資本比率は、信用リスク・アセット(リスクがある資産)等に対して自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性・安全性をみる重要な指標の一つです。国内業務を行う金融機関には4%以上の自己資本比率が求められています。

2023年9月末の自己資本比率は25.29%であり、引き続き高水準の自己資本比率を維持しています。

また、リスクの備えとしての自己資本額は2023年3月末比19億91百万円増加し、816億3百万円となりました。そのほとんどがみなさまからの出資金と特別積立金であり、自己資本の質は良好な水準にあります。

自己資本比率と自己資本額 (単位:億円、%)



自己資本の構成

(単位:百万円)

	2023年3月末	2023年9月末
自己資本の額	79,611	81,603
コア資本に係る基礎項目の額	80,350	82,343
コア資本に係る調整項目の額	738	740
リスク・アセット等	312,093	322,663
信用リスク・アセット	291,404	301,974
オペレーショナル・リスク相当額の合計額÷8%	20,689	20,689
自己資本比率	25.50%	25.29%

■ 不良債権(信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権)

不安定な世界情勢により原材料等の価格高騰が続いており、地域企業の収益力にも影響を及ぼしている状況です。

企業の再生支援とともに不良債権の抑制に努め、開示債権額は2023年3月末比3億46百万円減少して229億42百万円となり、総与信残高に占める割合も0.19ポイント低下して6.25%となりました。

このうち、担保や保証、貸倒引当金などにより195億81百万円が保全されています。また、未保全額は33億61百万円になりますが、特別積立金748億47百万円により十分にカバーされています。

不良債権額と保全額 (単位:億円)



不良債権額

(単位:百万円)

区分	2023年3月末	2023年9月末
	残高	残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,531	1,807
危険債権	21,286	20,679
要管理債権	470	455
合計	23,288	22,942
正常債権	338,239	343,972
総与信残高	361,528	366,915